



2019年12月期第2四半期 決算説明資料

2019年8月
株式会社セレス（東証第一部：3696）



1. ビジョンとビジネスモデル
2. 連結決算の概要
3. 成長戦略と事業概況

1. ビジョンとビジネスモデル

インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。

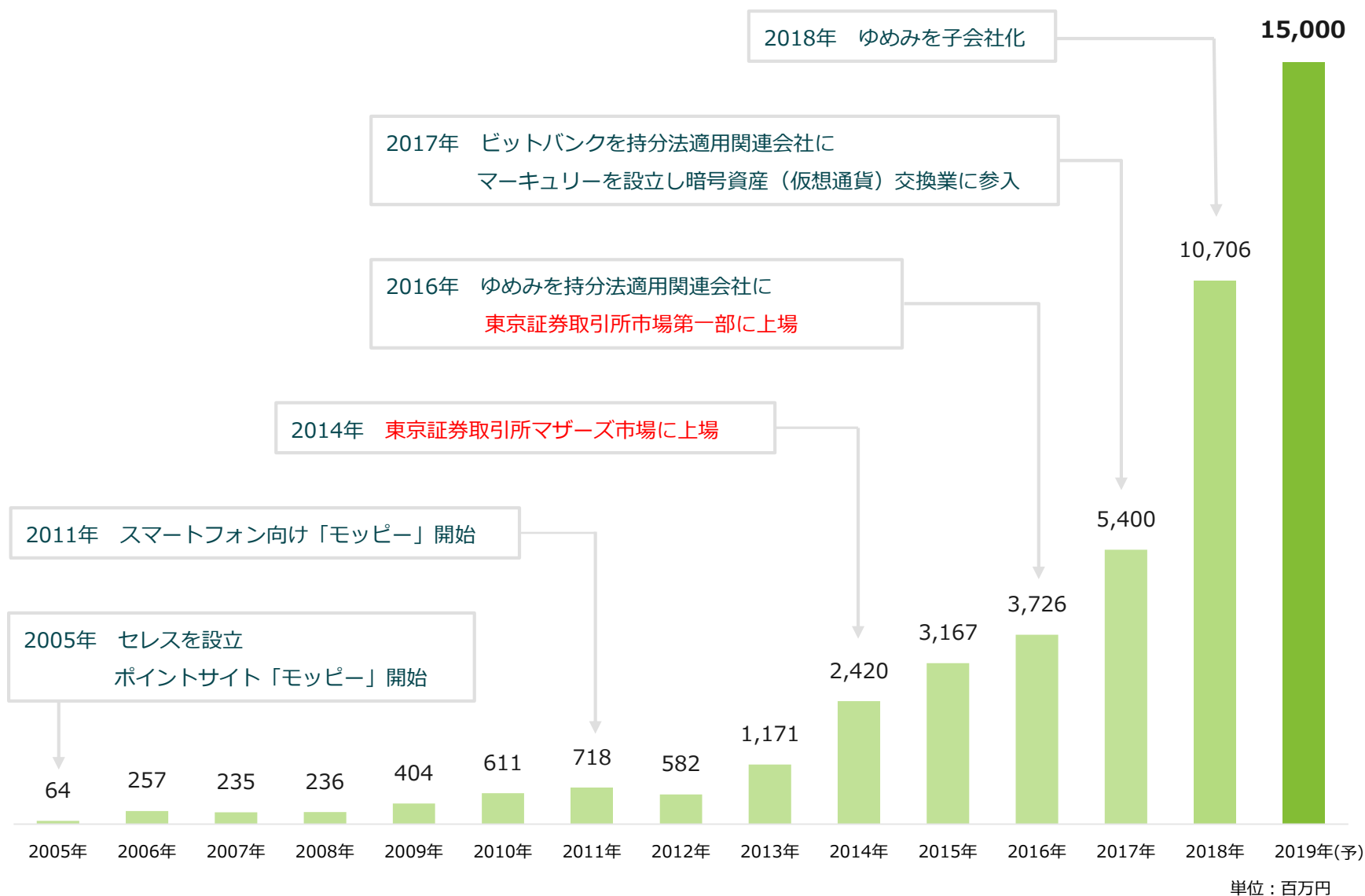
モバイルから生活を豊かに



ceres

CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穡の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

セレスの沿革

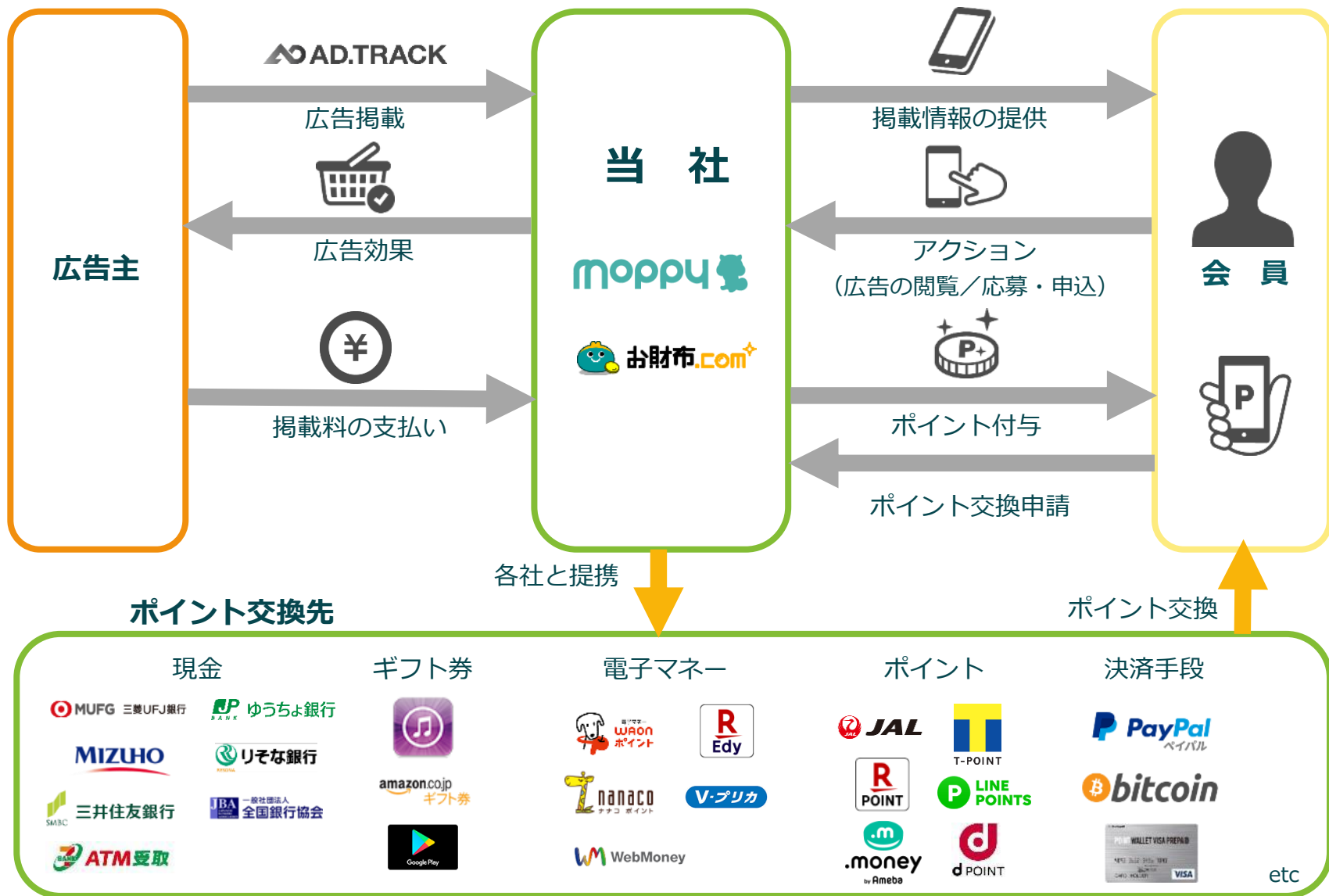


セレス事業領域と主要サービス

ポイントメディア・コンテンツメディアを中心とした「モバイルサービス」と「フィナンシャルサービス」の2セグメントより構成

	モバイルサービス事業	フィナンシャルサービス事業
ポイントメディア	 	スマートフォン決済 
アフィリエイトプログラム		
コンテンツメディア	  	
O2O	オムニチャネル 	ブロックチェーン事業  
その他事業		投資育成事業

ポイントメディアのビジネスモデル





2. 連結決算の概要

2019年12月期第2四半期（累計） 連結決算概要

売上高	7,755百万円	（前年同期比	78.2%増）
営業利益	382百万円	（前年同期比	40.9%減）
経常利益	542百万円	（前年同期比	15.3%減）
EBITDA	676百万円	（前年同期比	8.3%減）

- 売上高は前年比78.2%増収、中でもモバイルサービスは97.4%増収
- 営業利益は前年のCC売却益がなくなり、ゆめみ・マーキュリーにおける先行投資や投資先減損処理の影響により前年比40.9%減に
- ビットバンクの業績好調で経常利益は542百万円に
- マーキュリーは暗号資産（仮想通貨）交換業登録に向け投資継続

※連結業績と単体業績との比較になりますので、前年同期比は参考数値となります。

損益計算書の概要（第2四半期累計）

（単位：百万円）	2019年12月期 第2四半期累計(連結)	2018年12月期（※4） 第2四半期累計(単体)	前年同期比（※1）
売上高	7,755 (100.0%)	4,353 (100.0%)	+78.2%
売上総利益	2,587 (33.4%)	1,899 (43.6%)	+36.2%
販売費及び一般管理費	2,205 (28.4%)	1,252 (28.8%)	+76.1%
営業利益	382 (4.9%)	647 (14.9%)	-40.9%
経常利益	542 (7.0%)	640 (14.7%)	-15.3%
当期純利益（※2）	429 (5.5%)	420 (9.7%)	+2.2%
EBITDA（※3）	676 (8.7%)	738 (17.0%)	-8.3%

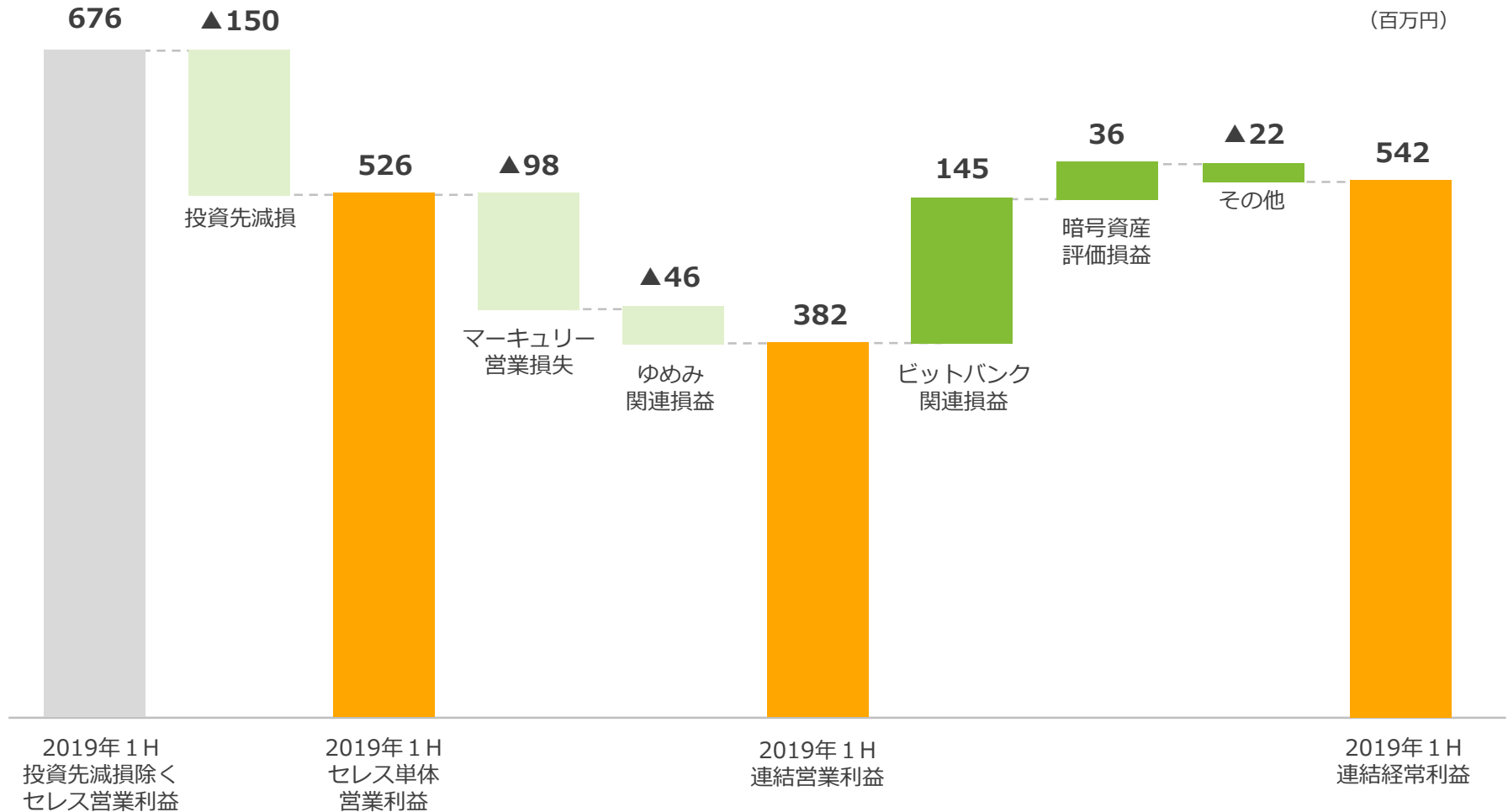
※1：2018年第2四半期は単体業績、2019年第2四半期は連結業績であるため、前年同期比は参考数値となります。

※2：当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

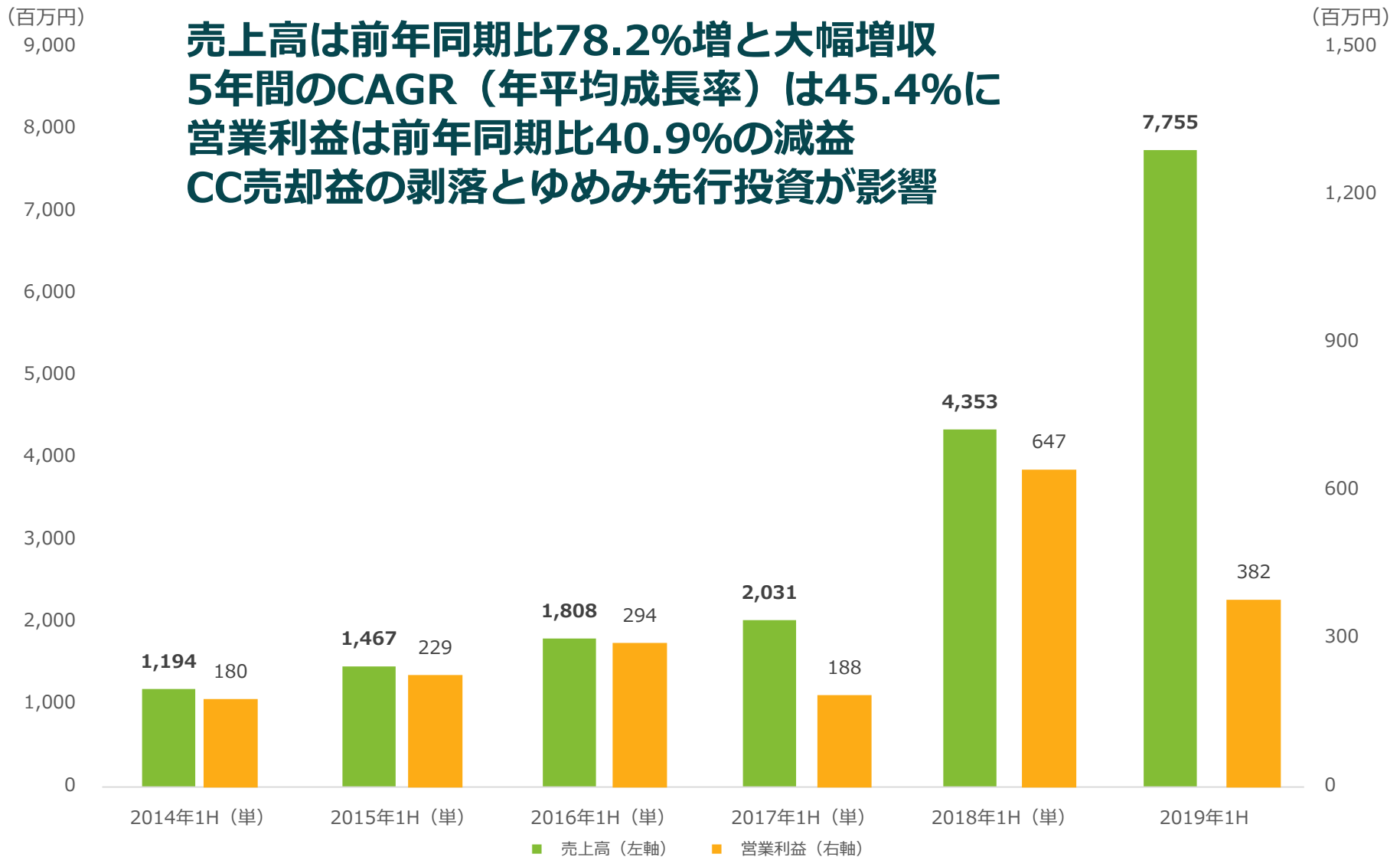
※3：EBITDA＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算)

※4：比較情報（前年同期）における経常利益、当期純利益、EBITDAの各数値は、「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」の適用前の数値を記載しております。

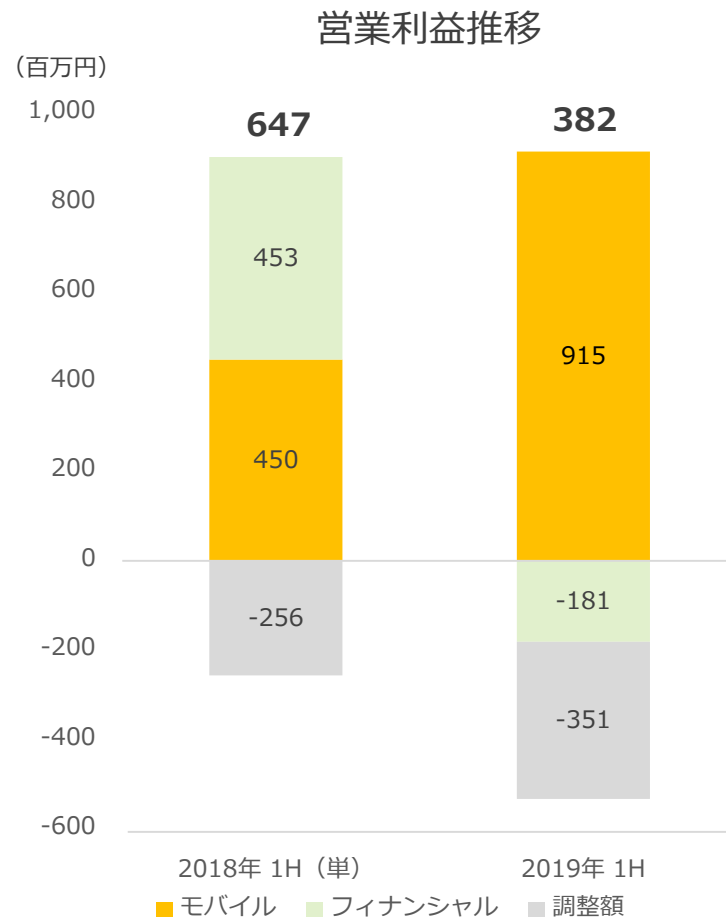
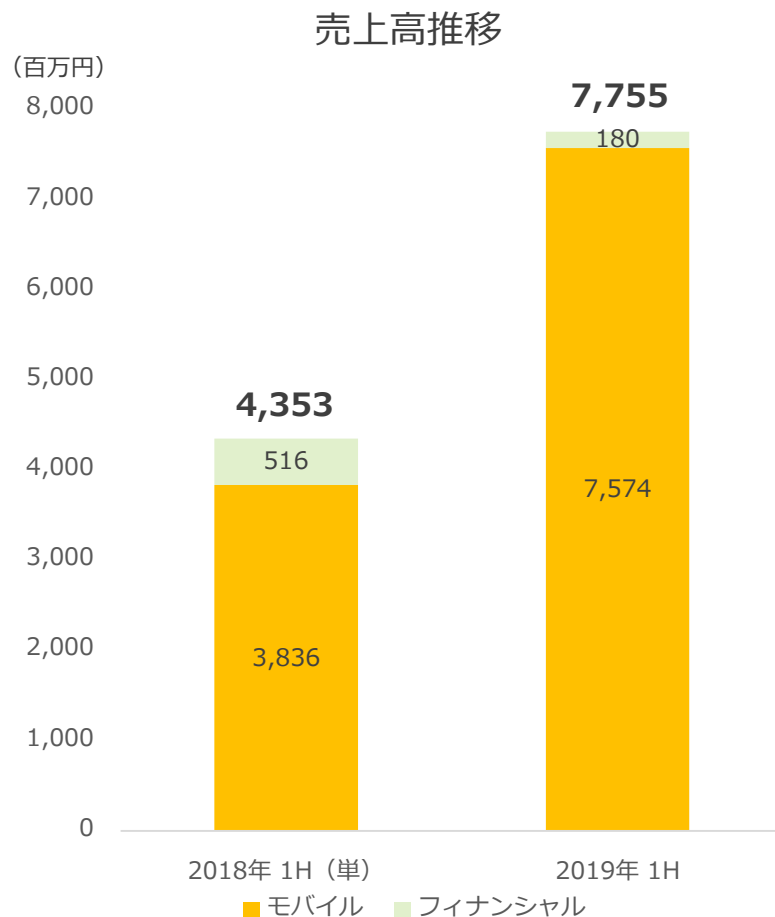
投資先減損を除くとセレス（モバイルサービス）収益力向上 ゆめみ・マーキュリーへの先行投資の一方でビットバンクが利益貢献



上半期売上高・営業利益推移



モバイルは前年同期比97.4%増収・102.9%増益で好調維持 フィナンシャルはCC売却無く先行投資により大幅減収減益



※連結業績と単体業績との比較のため、前年同期比は参考数値となります。

損益計算書の概要（第2四半期）

（単位：百万円）	第2四半期・連結 （2019年4-6月）	前年同期・単体（※4） （2018年4-6月）	前年同期比（※1）	前四半期・連結 （2019年1-3月）	前四半期比
売上高	3,694 (100.0%)	2,640 (100.0%)	+39.9%	4,060 (100.0%)	-9.0%
売上総利益	1,208 (32.7%)	1,303 (49.4%)	-7.3%	1,379 (34.0%)	-12.4%
販売費及び 一般管理費	1,046 (28.3%)	692 (26.2%)	+51.1%	1,158 (28.5%)	-9.7%
営業利益	162 (4.4%)	611 (23.2%)	-73.5%	220 (5.4%)	-26.5%
経常利益	353 (9.6%)	610 (23.1%)	-42.1%	188 (4.7%)	+87.1%
四半期純利益（※2）	291 (7.9%)	408 (15.5%)	-28.7%	138 (3.4%)	+111.0%
EBITDA（※3）	412 (11.2%)	669 (25.3%)	-38.3%	263 (6.5%)	+56.5%

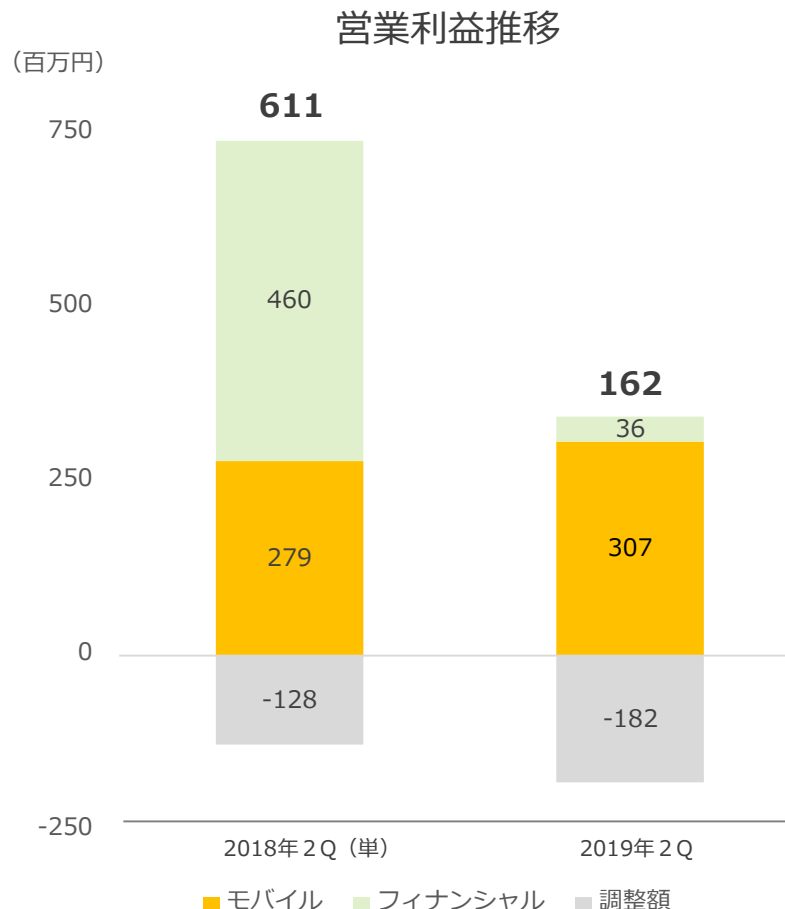
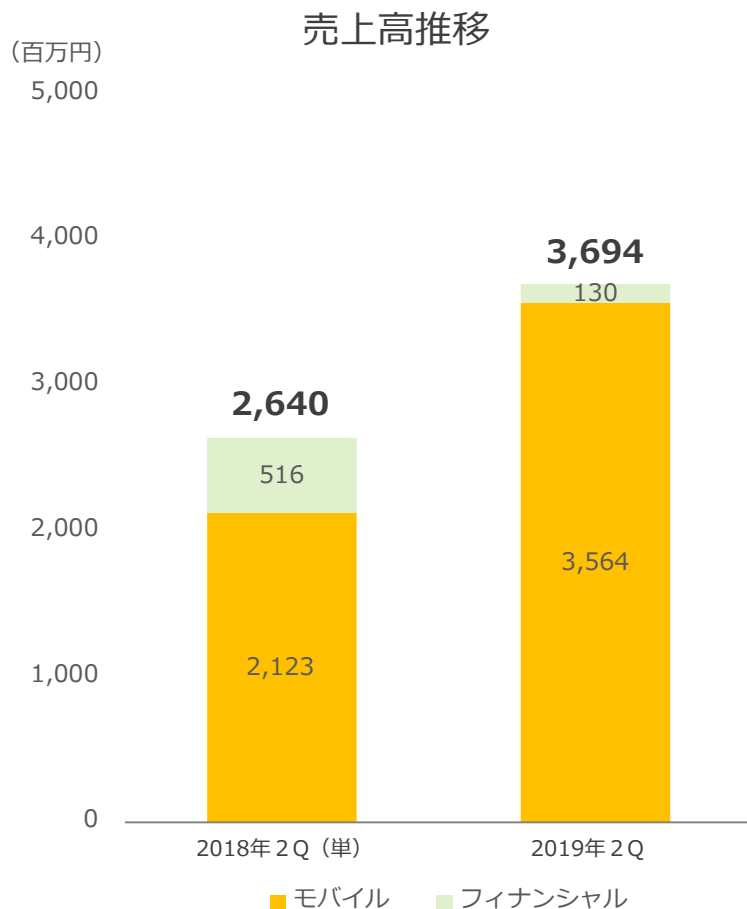
※1：2018年第2四半期は単体業績、2019年第2四半期は連結業績であるため、前年同期比は参考数値となります。

※2：四半期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

※3：EBITDA＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却費（持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算）

※4：比較情報（前年同期）における経常利益、四半期純利益、EBITDAの各数値は、「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」の適用前の数値を記載しております。

モバイルは前年同期比67.8%増収・ゆめみ赤字も10.0%増益に フィナンシャルは投資先一部売却により四半期黒字に



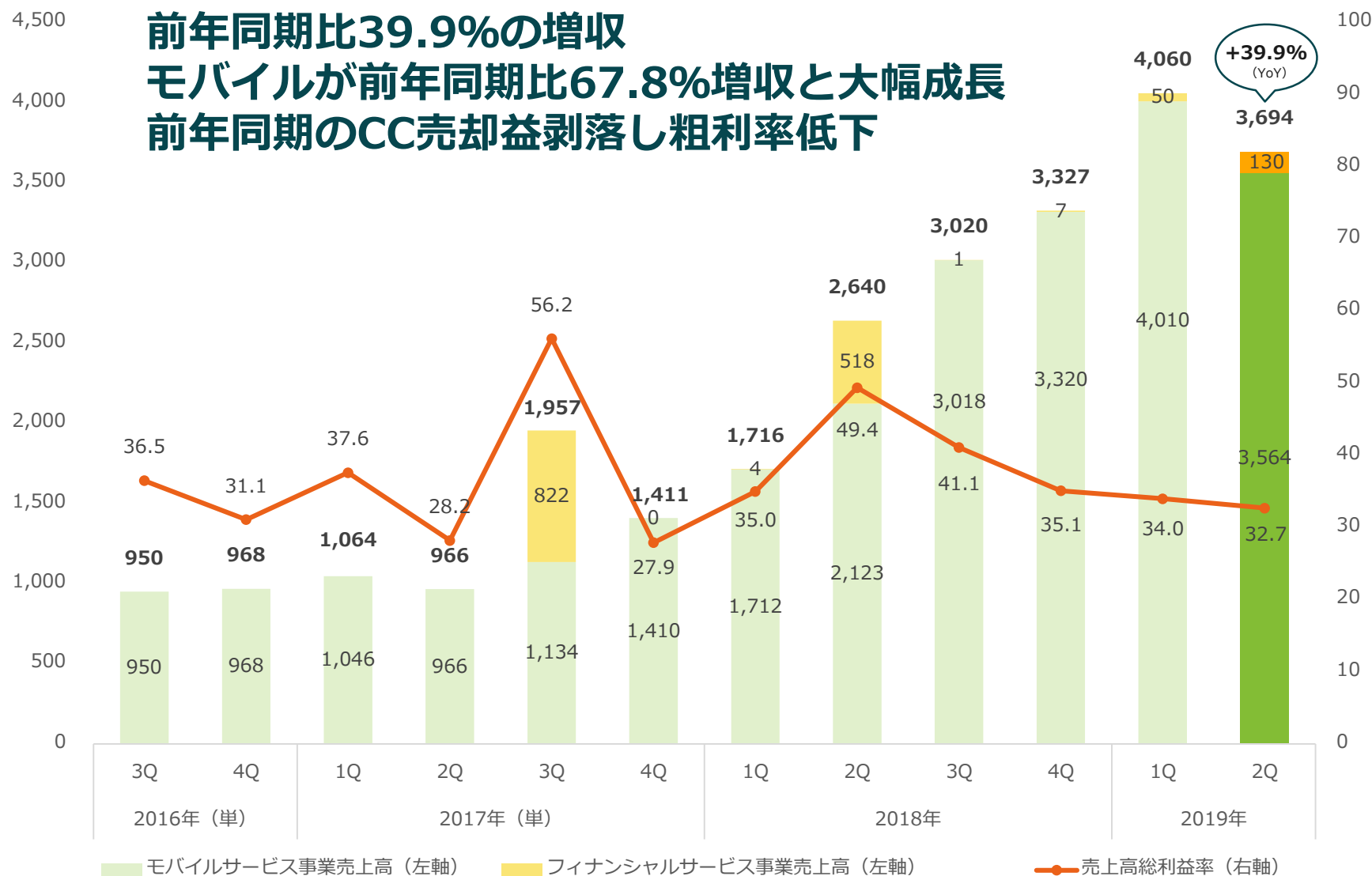
※連結業績と単体業績との比較のため、前年同期比は参考数値となります。

四半期売上高推移

(百万円)

(%)

前年同期比39.9%の増収
モバイルが前年同期比67.8%増収と大幅成長
前年同期のCC売却益剥落し粗利率低下



ゆめみ・マーキュリーへの先行投資により減益に 前年同期のCC売却益を除くと実質前年比増益に

(百万円)

950

(%)

60

50

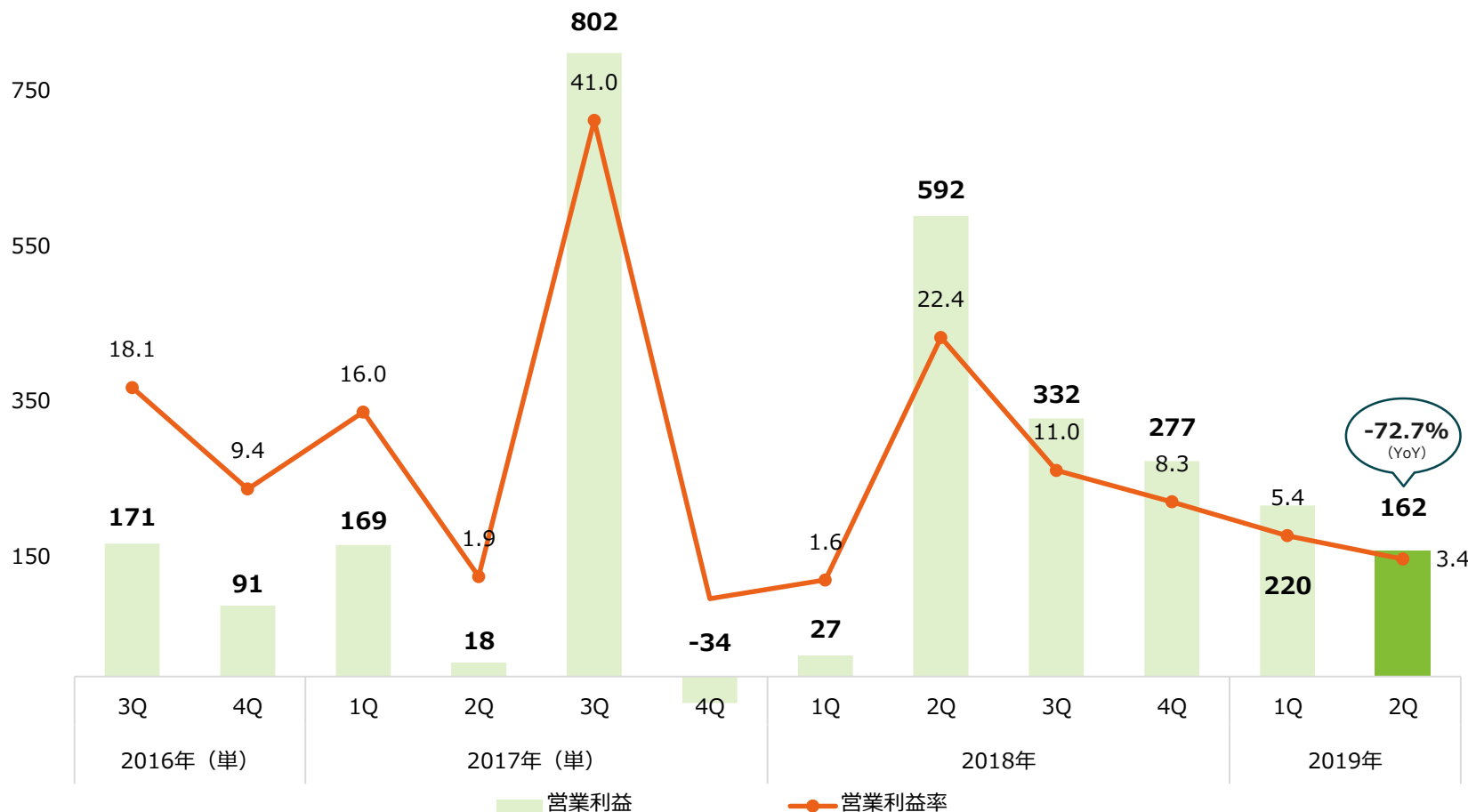
40

30

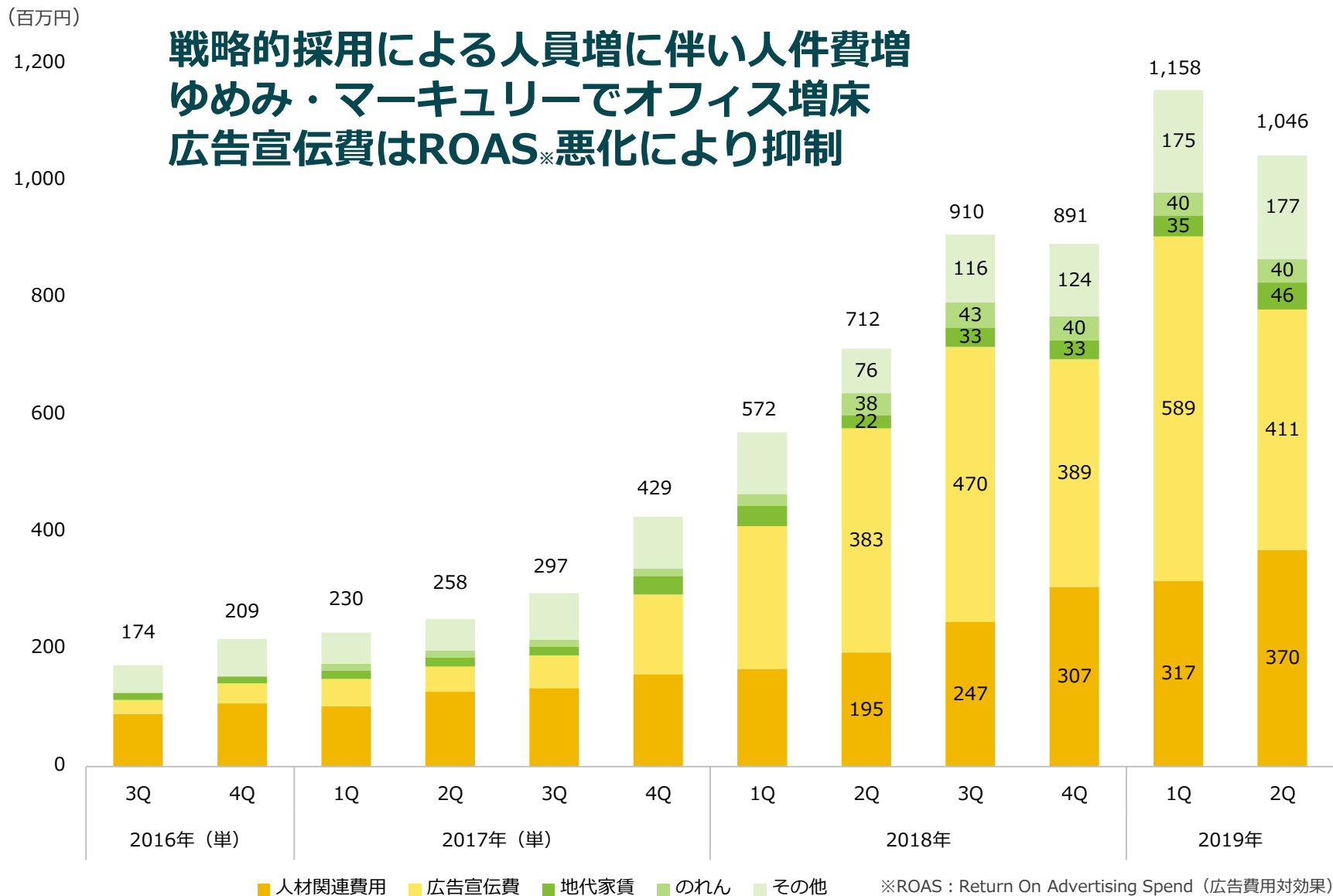
20

10

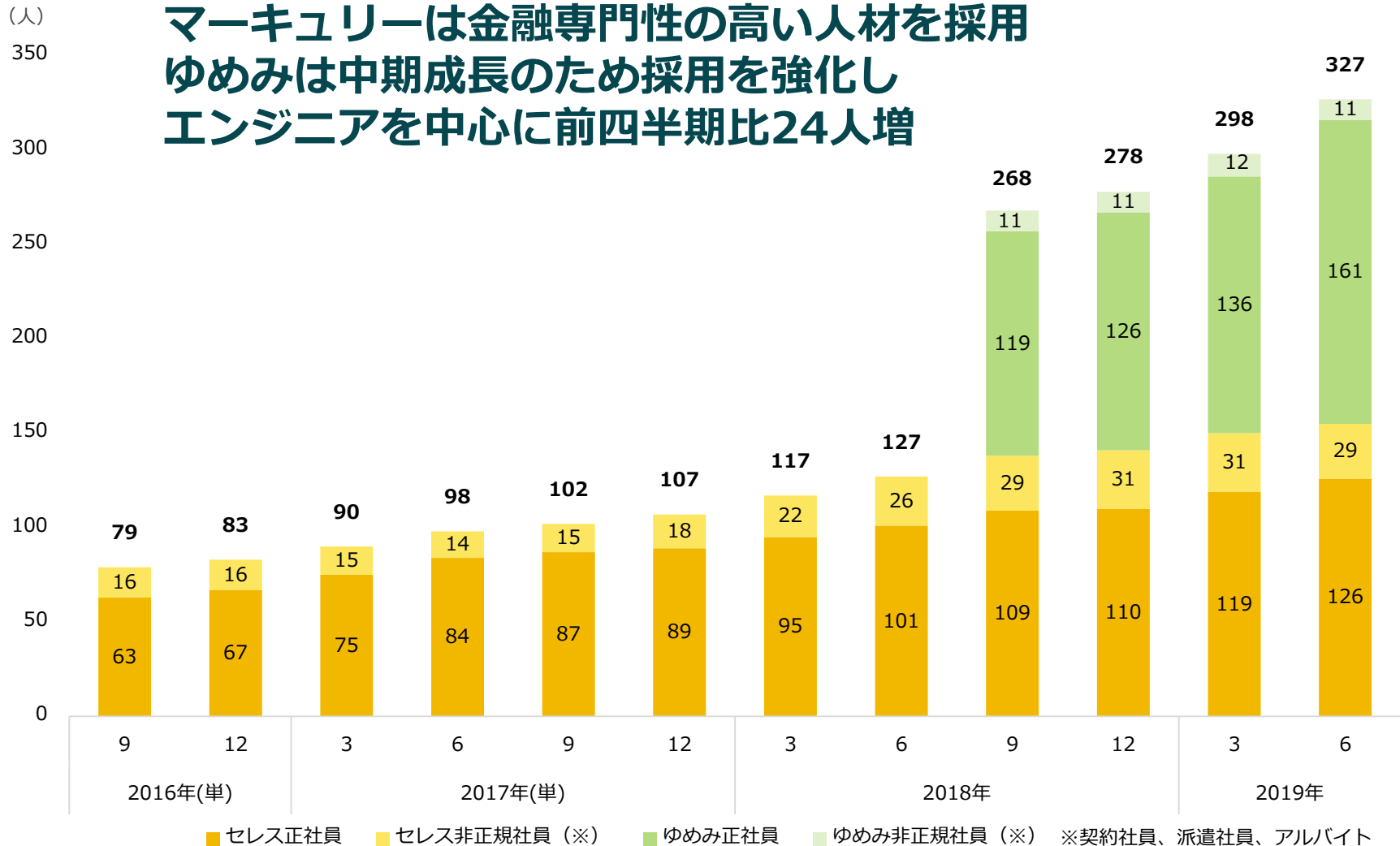
0



四半期販売費及び一般管理費推移



セレスで事業規模拡大に伴う人員増
マーキュリーは金融専門性の高い人材を採用
ゆめみは中期成長のため採用を強化し
エンジニアを中心に前四半期比24人増



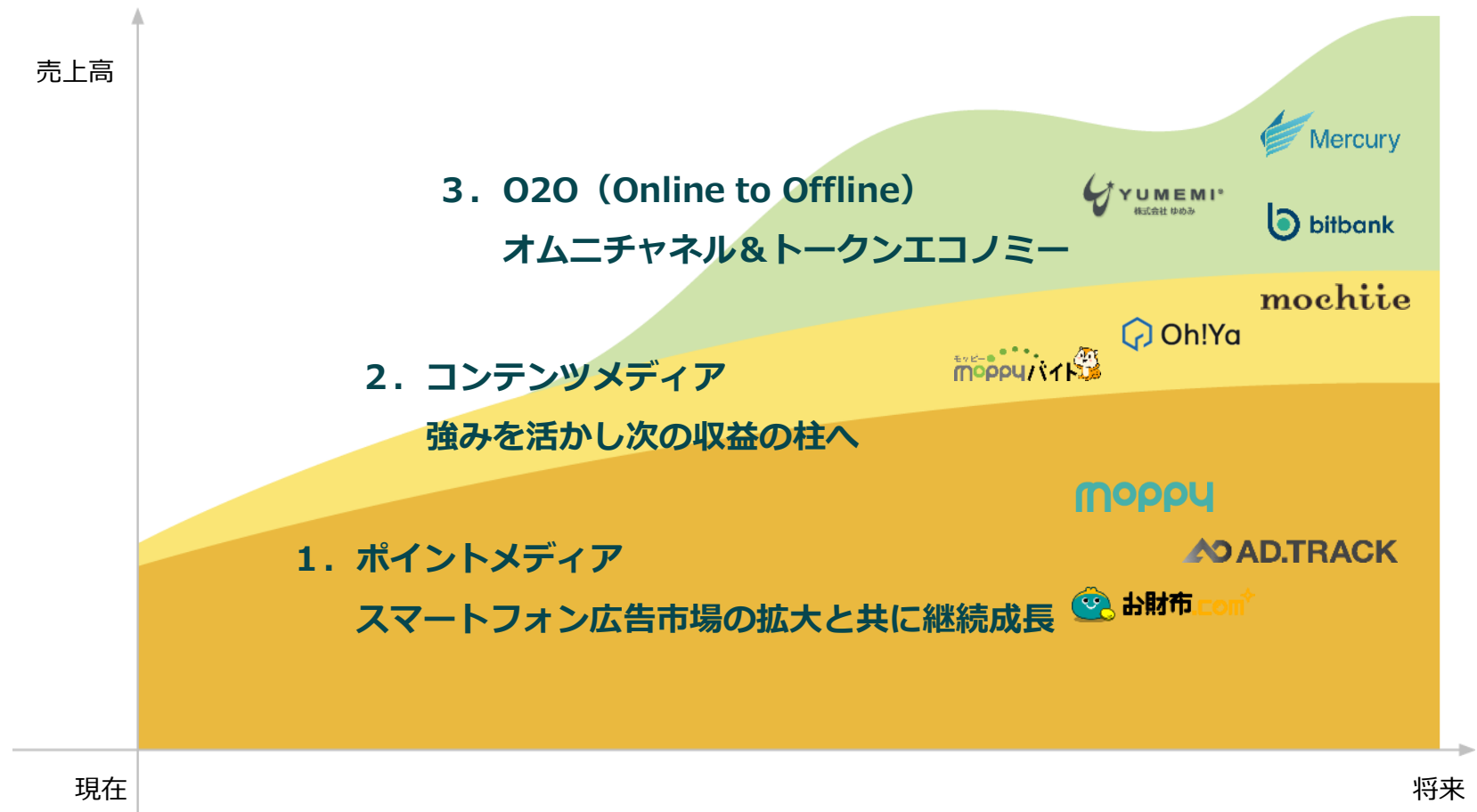
貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2019年12月期 第2四半期末	2018年12月期 期末 (※)	前年増減額	主な要因
資産合計	流動資産	7,311 (58.3%)	7,668 (64.3%)	-356	売掛金 +101 現金及び預金 -512
	固定資産	5,231 (41.7%)	4,248 (35.7%)	+983	ビットバンク転換社債 +500
	資産合計	12,543 (100.0%)	11,917 (100.0%)	+626	
負債合計	流動負債	4,532 (36.1%)	4,161 (34.9%)	+370	ポイント引当金 +227 買掛金 +117
	固定負債	1,281 (10.2%)	1,317 (11.1%)	-36	社債 +120 長期借入金 -201
	負債合計	5,813 (46.3%)	5,479 (46.0%)	+334	
純資産合計		6,729 (53.7%)	6,437 (54.0%)	+291	四半期純利益 +429 配当金 -154
負債・純資産合計		12,543 (100.0%)	11,917 (100.0%)	+626	

※当期より「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」を適用したことに伴い、
2018年12月期の貸借対照表は遡及適用後の金額となっております。

3. 成長戦略と事業概況

「ポイントメディア+a」へ投資を拡大し中長期成長を果たす



2019年 第2四半期

- 4/3 ⑥ 慶應義塾大学におけるブロックチェーン寄附講座を開設
- 4/4 ⑥ quatre（株）との資本提携
- 4/23 ④ お財布.comとgiftee間にてポイント交換開始（モッピーでは5/20より開始）
- 5/20 ④ モッピー・お財布.comとセブン銀行間にてポイント交換開始
- 6/6 ⑥ （株）コミュニティオとの資本提携
- 6/13 ⑥ 投資先の（株）Link-Uが東証マザーズ上場承認（7/18 上場）

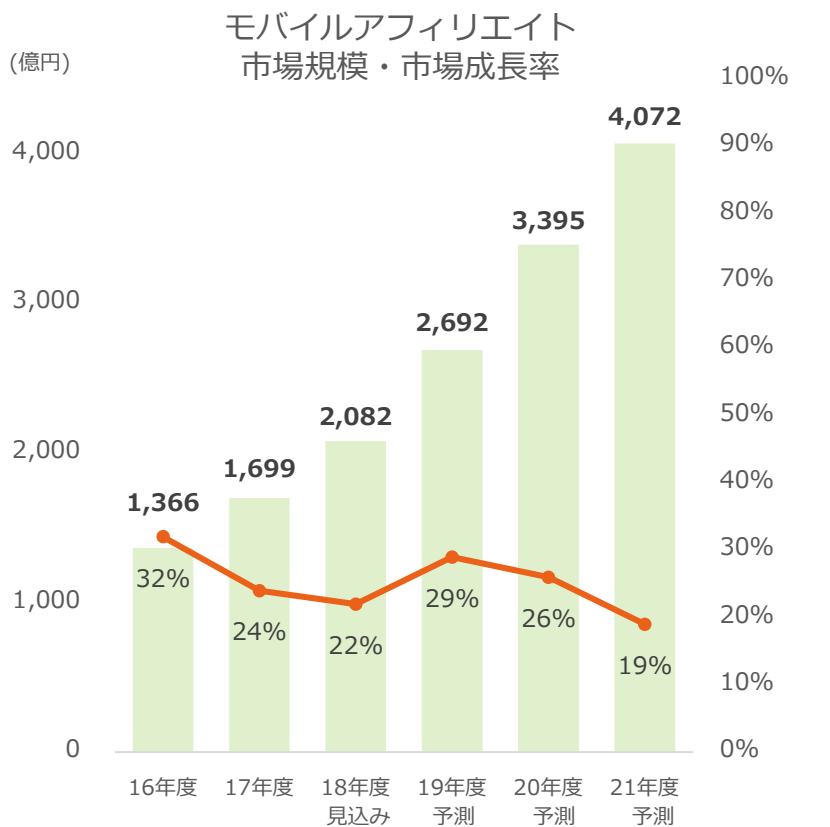
2019年 第3四半期

- 7/16 ⑥ DINETTE（株）との資本提携

※ ④：モバイルサービス、⑥：フィナンシャルサービス

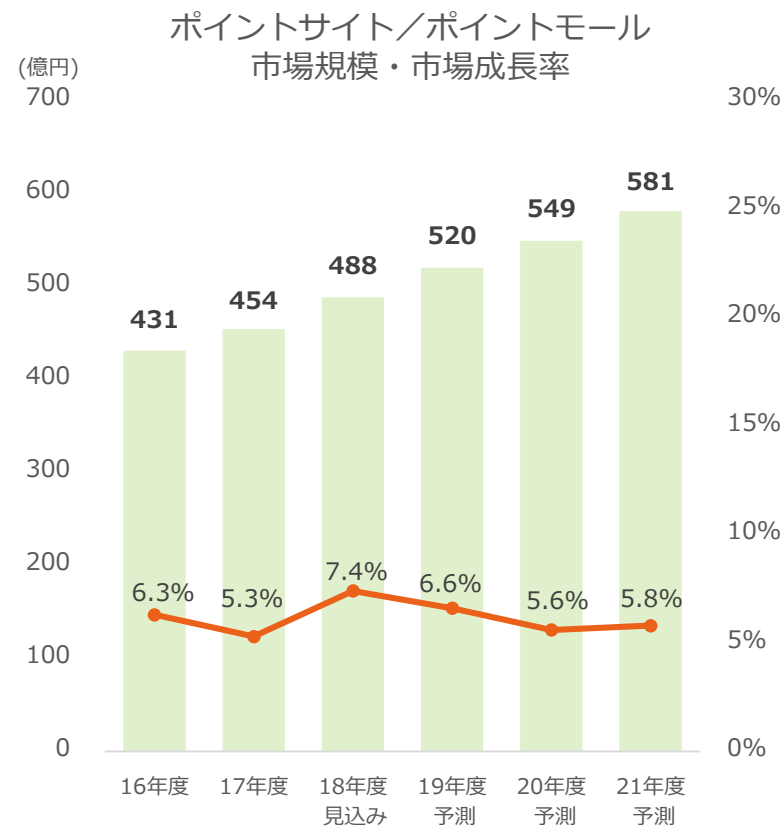
モバイルサービス事業の事業環境

モバイルサービス（ゆめみ除く） CAGR : 55.8%



■ 市場規模（左軸） — 市場規模成長率（右軸） ※左右グラフ共通

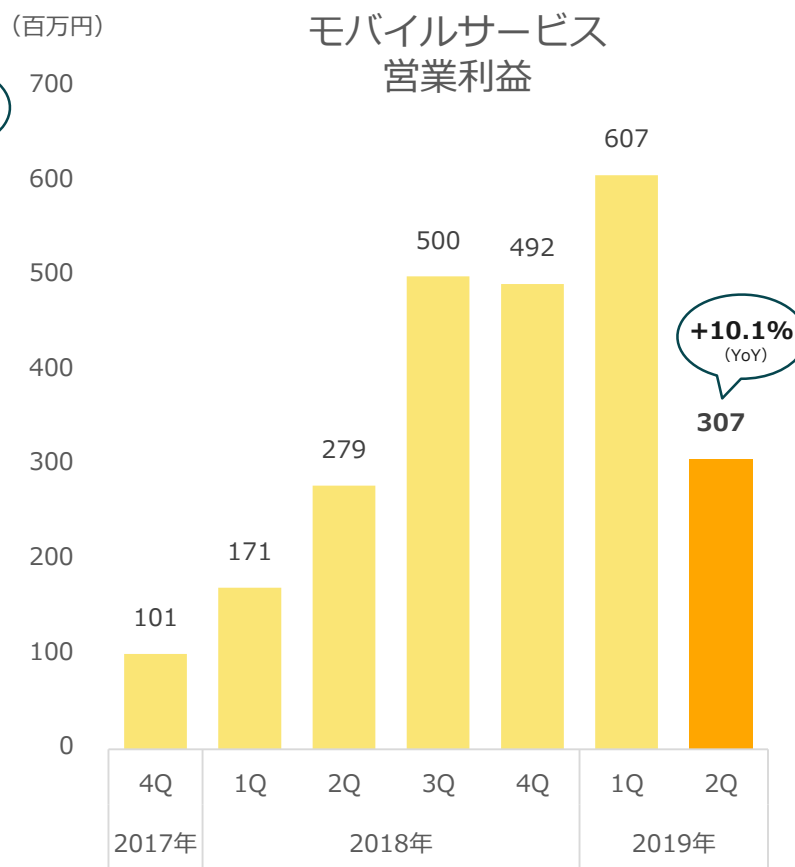
ポイントメディア CAGR : 13.2%



※ 1 : CAGRは2016年から2018年の売上高年平均成長率

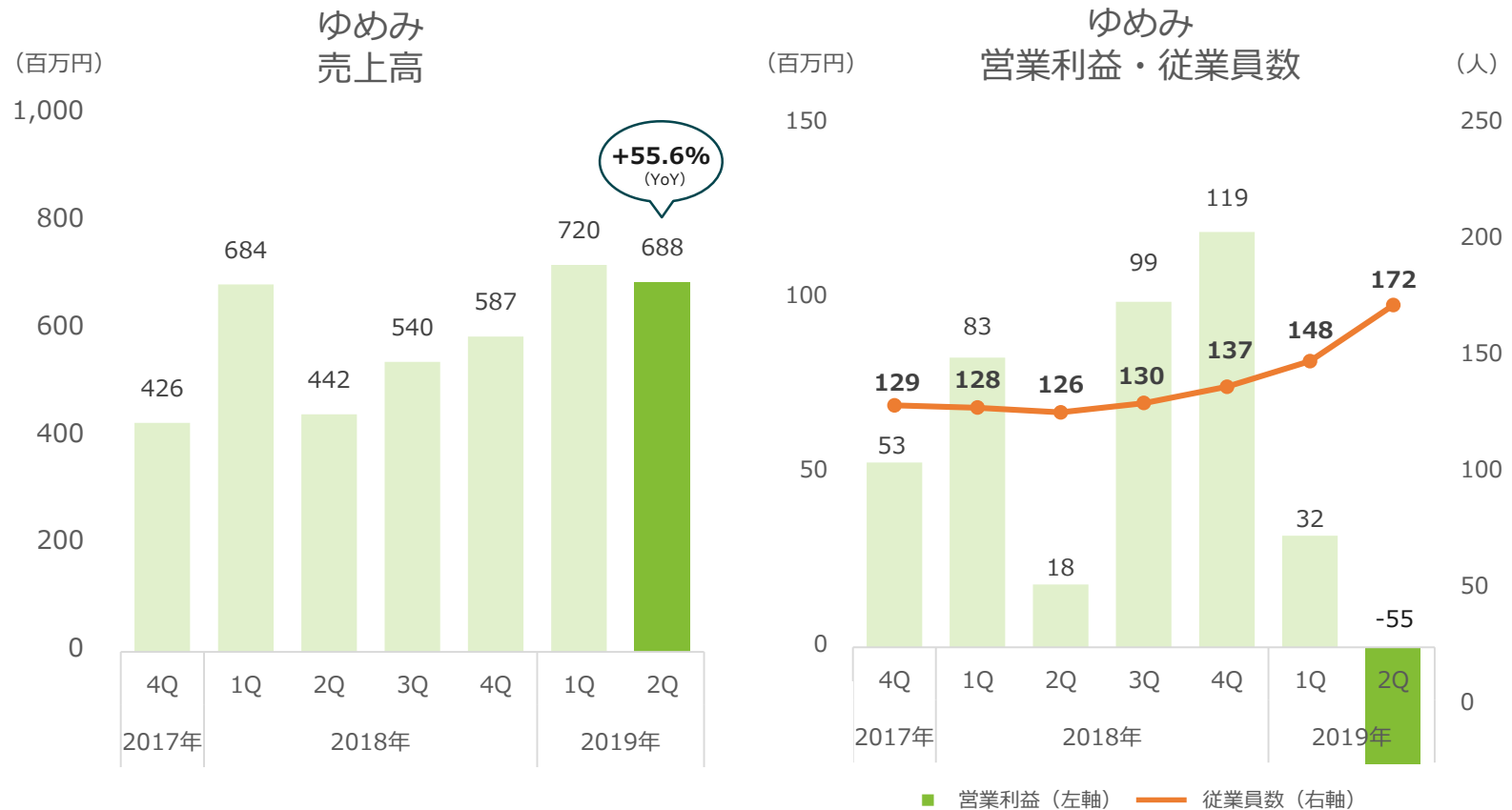
※ 2 : 矢野経済研究所「アフィリエイト市場の動向と展望2019」

前年同期比で67.8%増収・営業利益は10.1%増 ゆめみの第2四半期営業赤字をメディアの利益成長がカバー



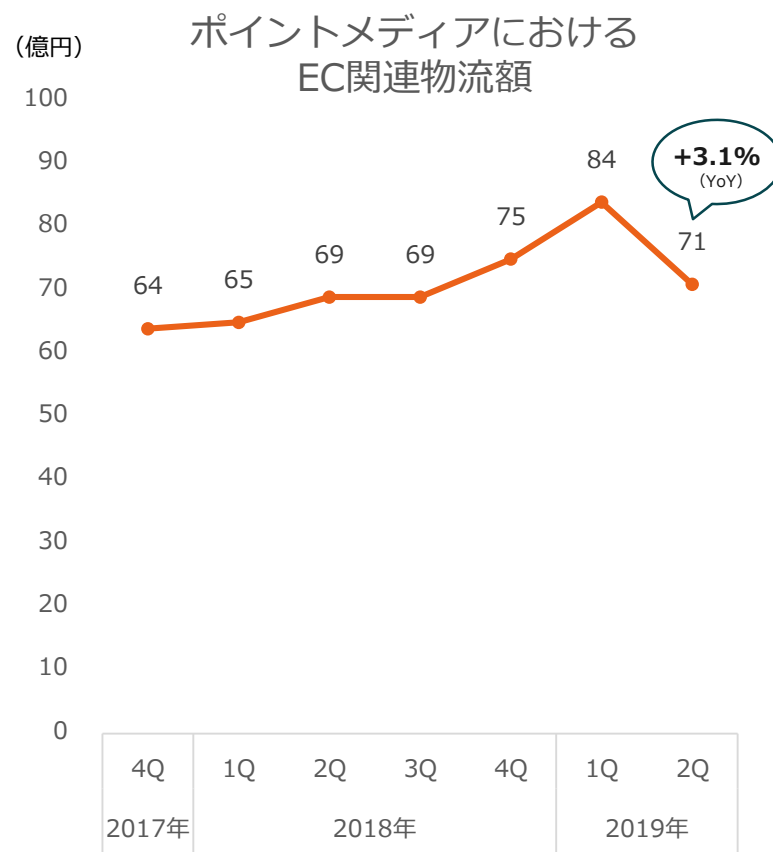
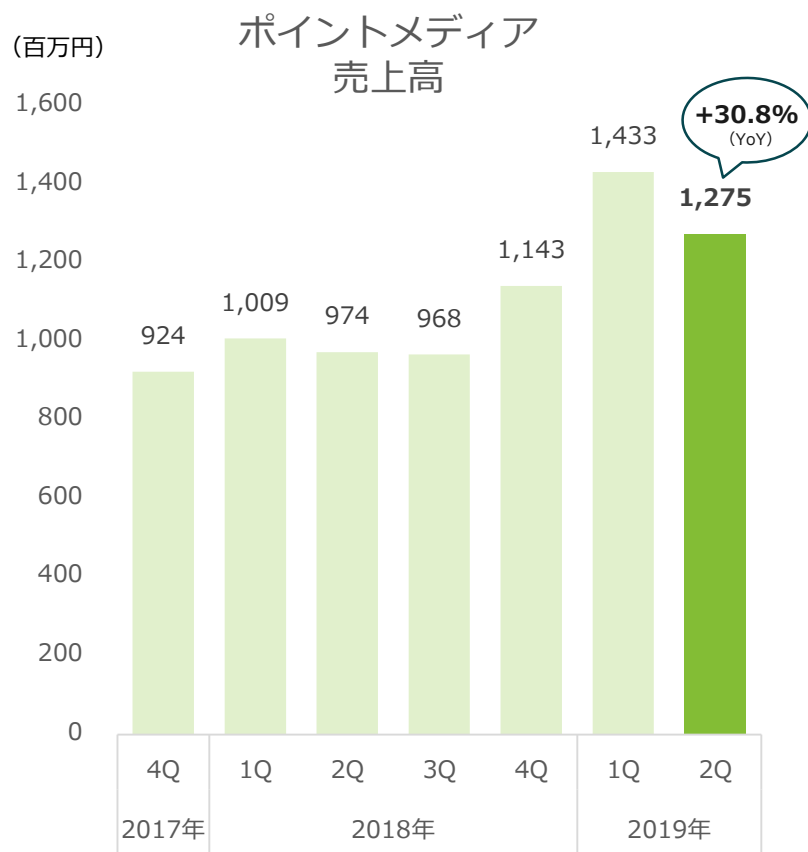
ゆめみの業績推移

前年同期比で売上55.6%増も、投資先行で営業赤字に転落
エンジニア採用・育成コスト・オフィス拡大の先行投資負担増
エンジニアの確保が中長期の成長力に影響するため積極投資



ポイントメディアの業績推移

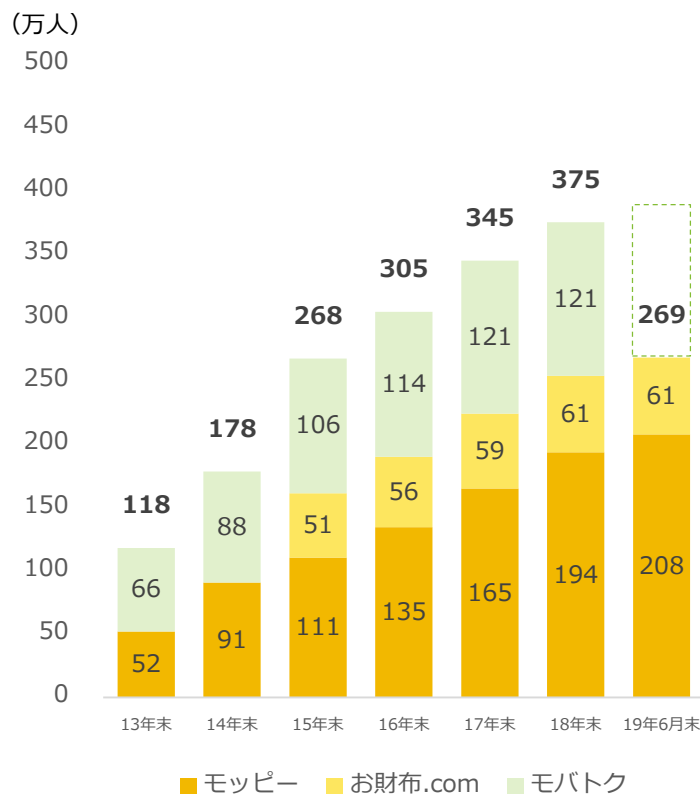
モッピー好調で売上高は前年同期比30.8%増
一部広告主の条件変更によりEC関連物流額が前四半期比で減少



ポイントメディアの概況

ポイントメディア会員数は引き続き順調に増加
消費増税後のPWVP決済で最大5%ポイント還元が可能に

ポイントメディア会員数推移



消費増税に伴うポイント還元



POINT WALLET VISA PREPAID

PWVPが決済事業者として認定

2019年10月以降、PWVPによる
決済にて最大5%のポイント還元
が可能に

ポイント交換先拡大



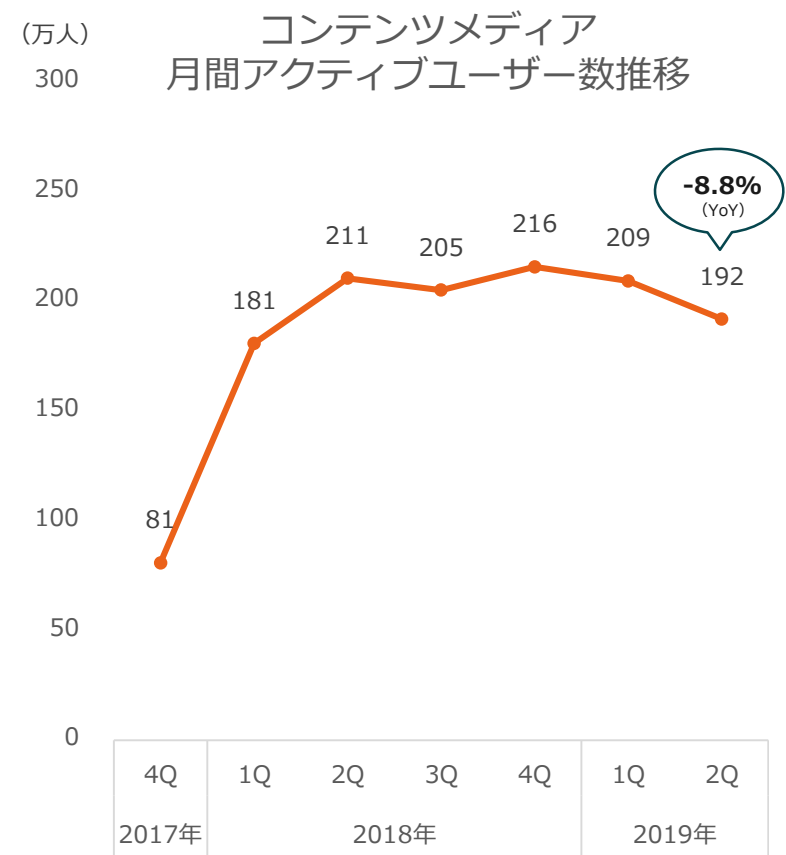
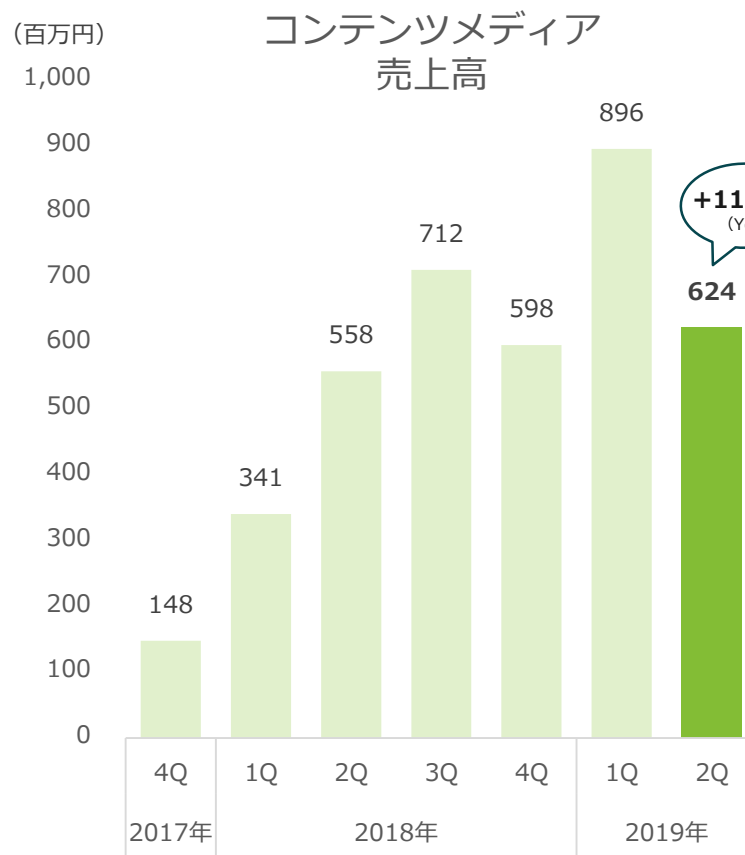
セブン銀行

ATM受取（現金受取サービス）

24時間365日セブンATMを通じ
ポイントを現金に交換可能に

コンテンツメディアの業績推移

売上高は前年同期比で11.7%増も前四半期比で30.7%減に
メディア側の広告審査厳格化に伴いROASが悪化し前四半期比減収に



※各メディアの月間アクティブユーザー（MAU）合計数の3か月平均

広告審査厳格化・不動産業界の不祥事が前四半期比減収要因に
求人・コミックは売上高好調で損益分岐点を超え利益貢献開始

アルバイト求人サイト「モッピーバイト」

採用課金型アルバイト求人サイト
営業強化により広告単価向上
利益体質が定着



投資用不動産情報サイト「Oh!Ya」

区分所有投資用不動産情報サイト
業界不祥事の影響により市況悪化
営業強化・コンテンツ強化中



フリーミアムコミックサイト「チケコミ」

基本無料のコミックサイト
コンテンツ16,000話以上に拡大
下期アプリ版投入予定



©天医無縫・伊月慶悟、地引かずや/日本文芸社



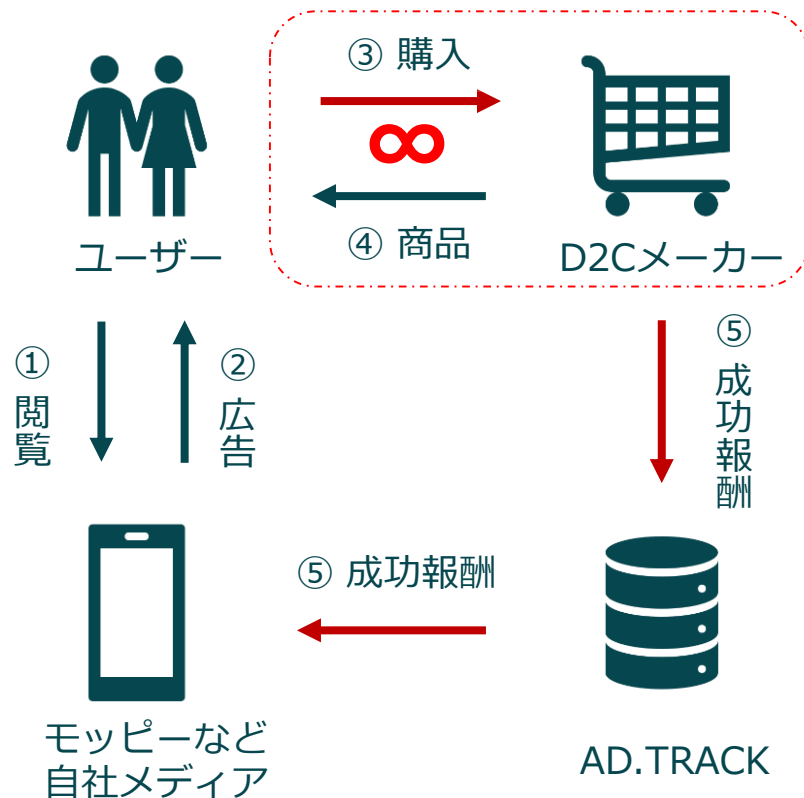
D2Cメディア「オトナ女子ログ」

美容関連EC商材の記事メディア
配信先メディアの広告審査厳格化の影響で
ROASが悪化し売上高減収に



D2C×サブスク領域への進出

D2C（Direct To Consumer）における自社商品の開発開始
D2C×サブスクリプション×アフィリエイトで垂直統合モデルに



セレスでD2Cに参入

セレスの持つメディアにおける販売力とアフィリエイトプログラムでのマーケティング力を活かし、サブスクリプション型（定期購入）自社商材の研究・開発をしPMF（Product Market Fit）を開始

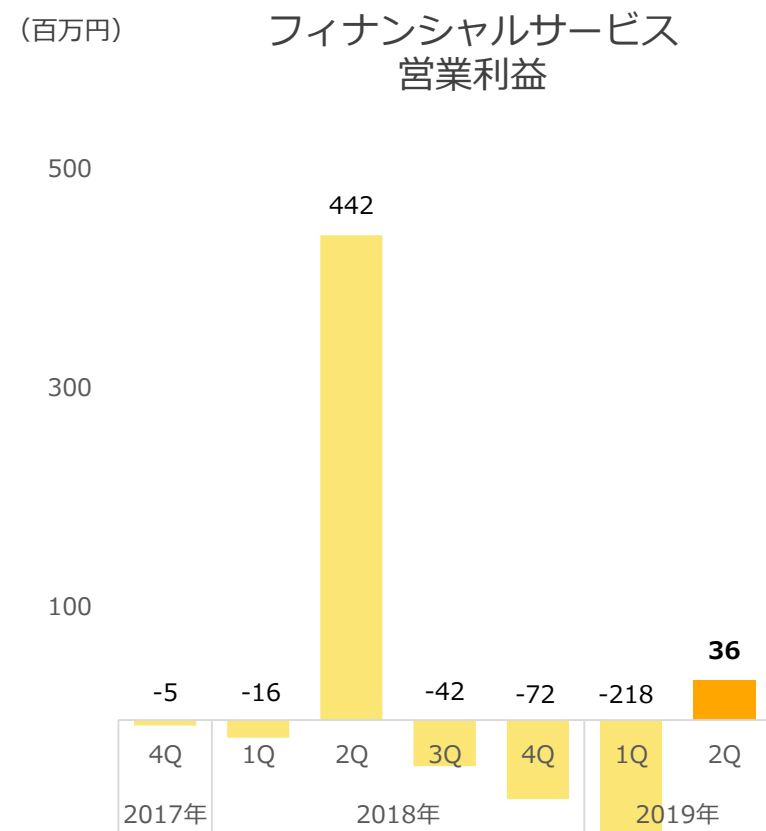
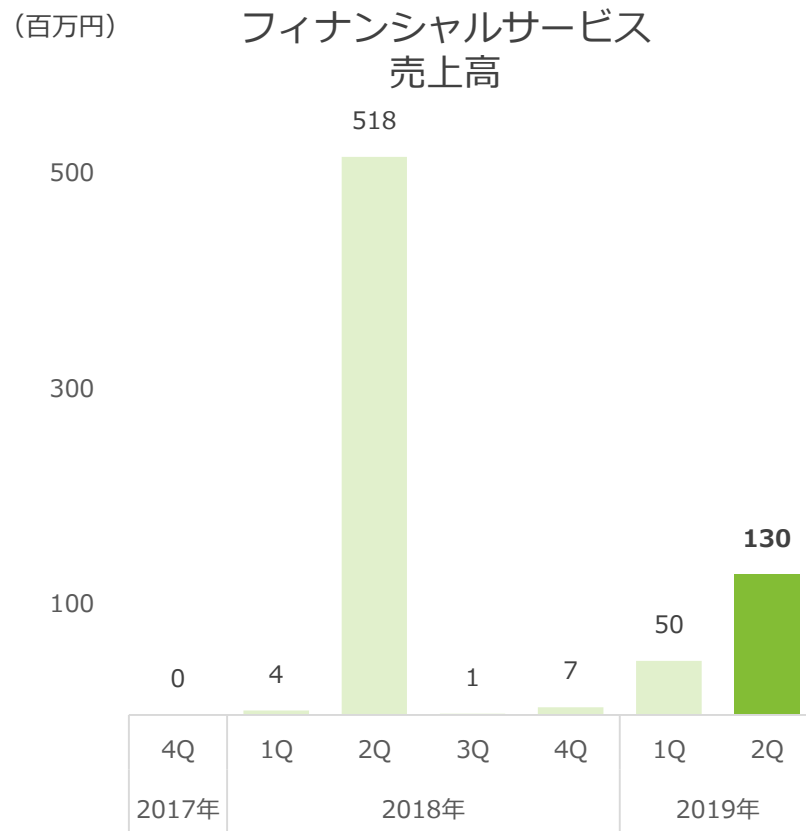
D2Cベンチャーとの業務提携

投資育成事業としてD2Cベンチャーへ投資し、マーケティング面での事業提携を行い成長加速を支援

コスメD2Cの「Waqoo」・「DEINETTE」と資本業務提携

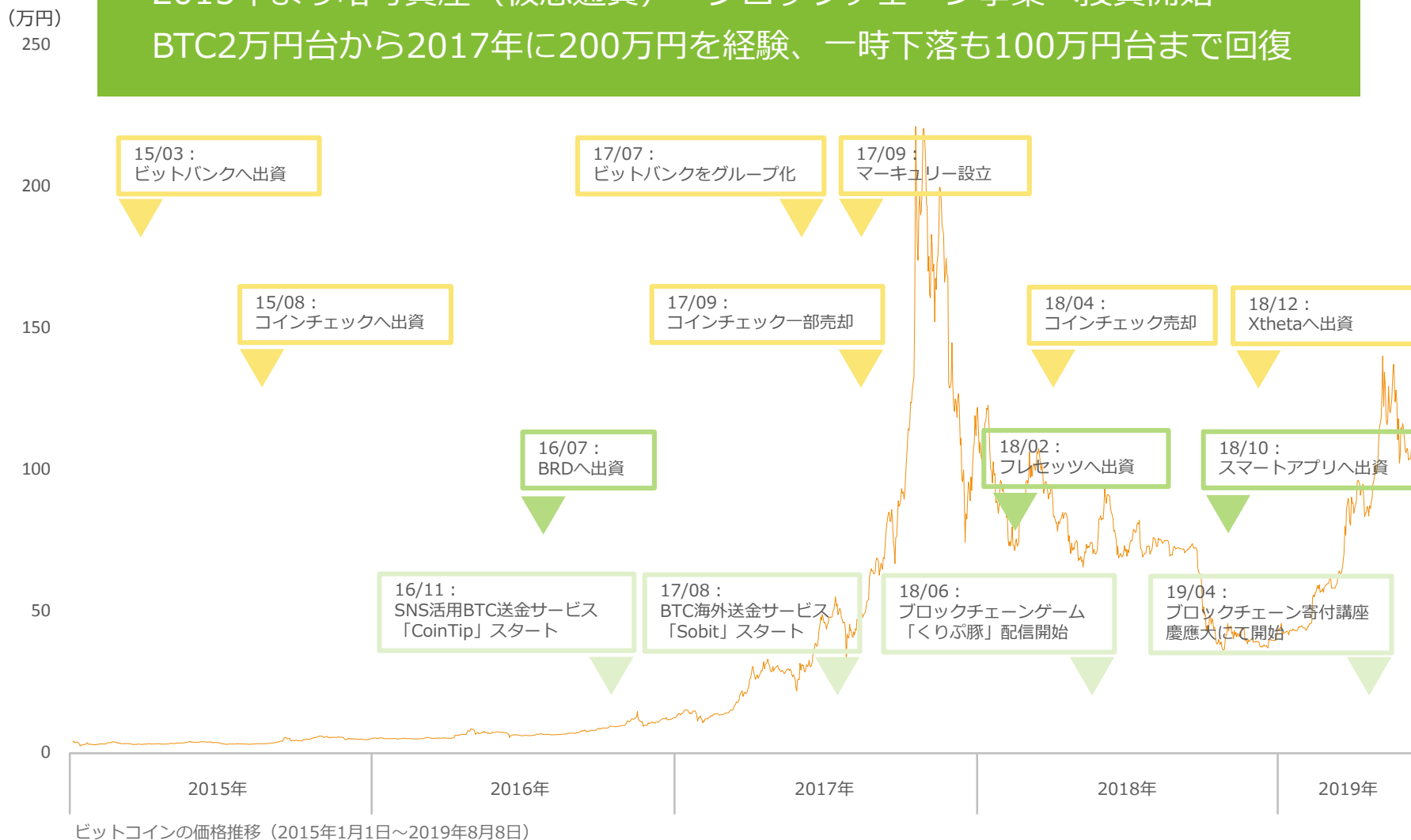


投資先一部売却を実施・Link-Uが7月18日にマザーズ上場
暗号資産（仮想通貨）交換業登録へマーキュリー投資継続
ビットバンクが持分法損益で大幅に利益貢献



ブロックチェーン事業への取組とビットコイン価格

2015年より暗号資産（仮想通貨）・ブロックチェーン事業へ投資開始
BTC2万円台から2017年に200万円を経験、一時下落も100万円台まで回復



Facebook・Amazonの暗号資産（仮想通貨）・ブロックチェーン領域への進出
ブロックチェーン実用化に向けて大企業における採用も進む

Facebook創設「Libra（リブラ）」

- ・法定通貨における保管・決済・送金などの課題を解決するための手段として創設
- ・運営団体が保有する資産を裏付けとして発行されるステーブルコイン
- ・独自ブロックチェーンに基づきオープンソースにて開発が進められる予定



≈libra

暗号資産（仮想通貨）取引所における取引ニーズが発生

ユーザー間の決済・送金の拡大によりトークンビジネス市場が拡大

AWS提供のブロックチェーンサービス

- ・Amazon.com傘下のAmazon Web Serviceにおいてクラウド上にブロックチェーンネットワークを構築可能なビジネス向けサービスを提供開始
- ・ソニー・ミュージックエンターテインメントが音楽の権利情報処理システムに採用



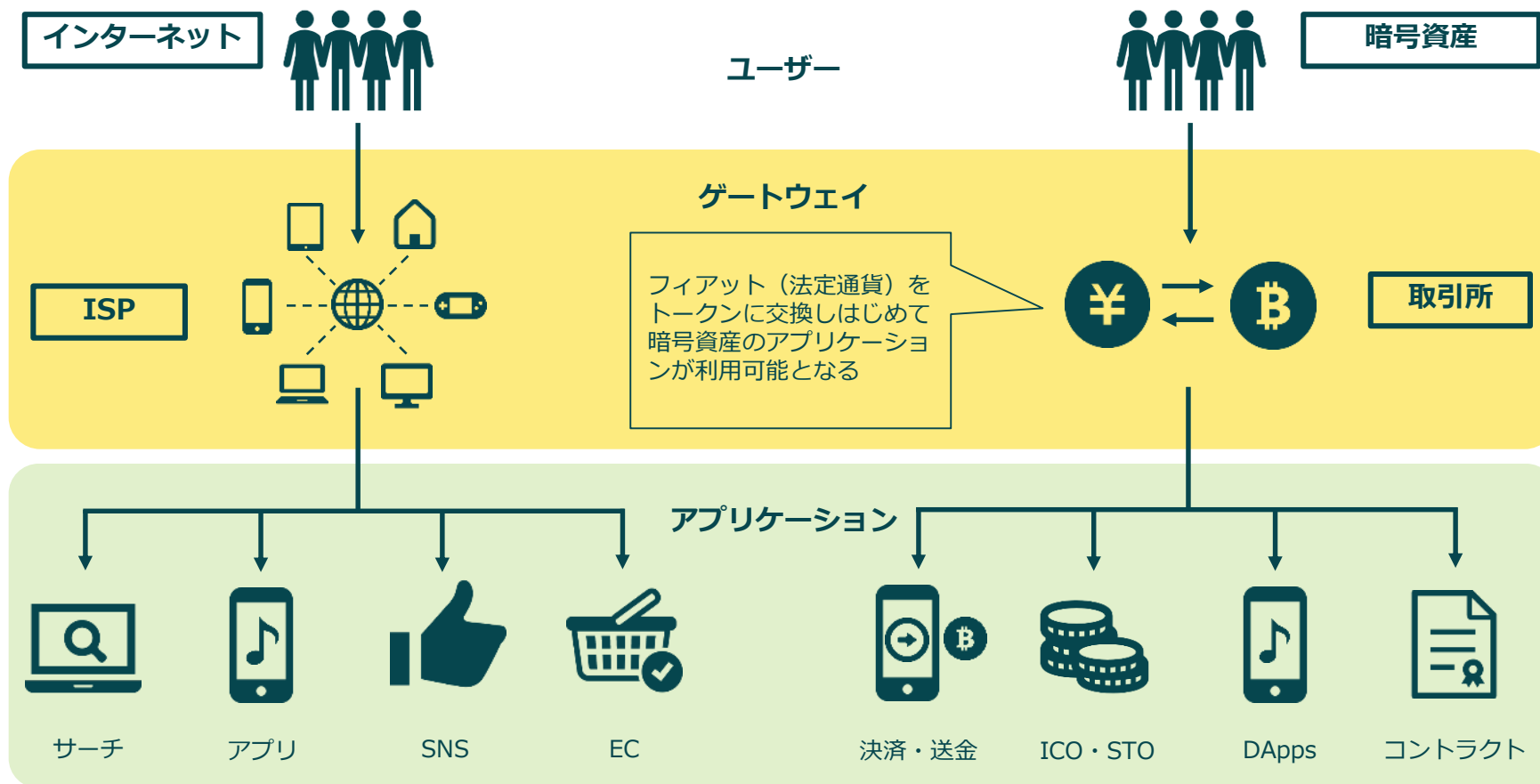
aws

ブロックチェーン開発のハードルが下がりDApps開発が容易に

DApps市場の創成・成長によりブロックチェーン市場が本格拡大へ

ブロックチェーン事業の進化形態

インターネット＝情報のフラット化 ／ 暗号資産（仮想通貨）＝価値のフラット化
価値交換のアプリケーションの窓口となるのが暗号資産取引所



ブロックチェーン事業のバリューチェーン

▼主要プレイヤー

▼セレス事業

マイニング

BITMAIN



マーキュリー
PoSマイニング
2017年開始



取引所

coinbase



マーキュリー
交換業申請中
100%子会社



ビットバンク
国内最大規模の取引所
関連会社



Xtheta
登録事業者
2018年出資

coincheck

コインチェック
登録事業者
アーンアウト付

ウォレット



Bread
アプリウォレット
2016年出資



フレセッツ
B向けウォレット
2017年出資



スマートアプリ
DAppsブラウザ
2018年出資

DApps/BaaS



CryptoKitties

bitpay



Sivira
トレーサビリティ
2017年出資



Orb
地域通貨
2015年出資



GINKAN
AI活用グルメSNS
2018年出資



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。